

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	010	環境審議会運営費	事業3	001	環境審議会運営費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・ 目的 環境の保全及び創造に関する基本的事項について、市長の諮問に応じて調査又は審議を行い、その結果を答申し、又はその意見を建議する。
- ・ 内容 環境の保全及び創造に関する基本的事項について、市長の諮問に応じて調査又は審議を行う。
- ・ SDGs
 - 6 安全な水とトイレを世界中に
 - 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
 - 11 住み続けられるまちづくりを
 - 12 つくる責任 つかう責任
 - 13 気候変動に具体的な対策を
 - 14 海の豊かさを守ろう
 - 15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・ 効果 第3次環境基本計画及び秦野市地球温暖化対策実行計画等の進行管理や計画的な推進を行うことにより、秦野市の豊かな自然環境の保全と活用、現在及び将来の市民の健康で安全かつ快適な生活を確保することができる。
- ・ 目標値 円滑かつ効果的な会議運営（年2回）

(3) 根拠法令・計画等

- ・ 根拠法令 環境基本条例
- ・ 計画 環境基本計画等

2 全体計画 [P]

- ・ 全体計画 事業費 :
- ・ 令和6年度決算 事業費（進捗率） : 149千円
- ・ 令和7年度予算 事業費（進捗率） : 212千円
- ・ 令和8年度予算 事業費（進捗率） : 255千円
- ・ 令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・ 令和6年度 バイオマス産業都市構想「基本計画編」の取組み、みどりの基本計画改定着手、環境報告書の報告等
- ・ 令和7年度 みどりの基本計画の改定、地球温暖化実行計画及び環境基本計画の中間見直し、環境報告書の報告等

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	010	環境審議会運営費	事業3	001	環境審議会運営費

適切な会議運営が図られているが、「デジタル化」を踏まえた開催方法等を検討していく必要がある。

5 令和8年度の主な取り組み（課題解決への取り組み等）[A]
各種計画等の進捗報告、審議事項の提案

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

報酬単価の上昇により、報酬金額が増額となったため

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

環境課題への取組について、国内外の動向を注視するとともに、適時適切な助言及び協力を求めていく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・ 予算計上額（うち一般財源） 255千円（255千円）

・ 内 容 専門的知見等の共有

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	030	野生動物保護推進事業費	事業3	001	野生動物保護推進事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、鳥獣保護事業を実施する。
- ・内容 希少野生動物の生息環境を把握し、保護するための情報収集と、生物多様性及び健全な生態系保全に向けた啓発を行う。
野生動物愛護の取組みを支援する。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 傷病鳥獣の保護等を通じた動物愛護思想の普及、オオタカ等の調査継続により、大規模開発に備えたデータ収集ができる。
- ・目標値 治療費の1/3以内の額を助成できるよう財源を確保する

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 鳥獣保護管理法
- ・計画 神奈川県オオタカ保護指導指針

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 268千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 748千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 748千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 傷病鳥獣保護支援、希少鳥獣の保護管理対策、鳥獣保護管理法許可事務
- ・令和7年度 傷病鳥獣保護支援、希少鳥獣の保護管理対策、鳥獣保護管理法許可事務

4 事業の自己評価 (効果、目標値に対する検証・課題・問題点等) [C]

生態系保全のための外来種への対応、野生動物との関わり方・保護のあり方について、市民への周知・浸透を図る必要がある。

5 令和8年度の主な取組 (課題解決への取組等) [A]

傷病鳥獣保護支援、希少鳥獣の保護管理対策、鳥獣保護管理法許可事務、外来種拡大防止の啓発等。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	030	野生動物保護推進事業費	事業3	001	野生動物保護推進事業費

6 要求額の増減理由[A]

(1) 増減理由
増額なし

(2) 根拠（定量データ）（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等

ア 傷病鳥獣保護事業補助金の実績

令和4年度補助金額 389千円（27件） 令和5年度補助金額 48千円（3件） 令和6年度補助金額 68千円（2件）

イ オオタカ調査団事業補助金の実績

令和4年度交付金額 190千円 令和5年度交付金額 190千円 令和6年度交付金額 190千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・ 傷病鳥獣の保護については、県自然環境保全センター利用を促進する。
- ・ 環境創出行為等に際して活用するデータを収集するため、オオタカ等の調査を継続する。
- ・ 外来種への対応については、市民に対して周知を図る【議会】。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし

(2) 自然災害対策への取組
該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	040	生き物の里保全事業費	事業3	001	生き物の里保全事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的
 - ・生物多様性の保全
 - ・生物の生息環境の保全を通じた活動による地域の活性化
- ・内容
 - 谷戸田等の希少な生き物の生息環境を保全し、生物多様性を確保するとともに、市民、ボランティア等の協働による「生き物の里」保全活用事業を行う。令和7年度改定のみどりの基本計画（生物多様性地域戦略）に基づき、動植物の生息環境を把握し、保護するための情報収集と、生物多様性及び健全な自然環境保全に向けた啓発を行う。
- ・SDGs
 - 11 住み続けられるまちづくりを
 - 15 陸の豊かさを守ろう
 - 17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果
 - ・絶滅の危険がある生き物をはじめとした多くの動植物が生育する環境が保全される。
 - ・保全活動を通じ、地域活性化や生物多様性の理解につながる。
 - ・地域住民の環境教育の場として利用し、環境への理解を深める。
- ・目標値
 - 生き物の里指定箇所数（7か所）。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令
 - みどり条例
- ・計画
 - 環境基本計画/みどりの基本計画（生物多様性地域戦略）
 - 総合計画（基本施策311 多様な生物を育む自然環境の保全と再生）

2 全体計画[P]

- ・全体計画

事業費	:	
令和6年度決算	事業費（進捗率）	: 1,309千円
令和7年度予算	事業費（進捗率）	: 1,730千円
令和8年度予算	事業費（進捗率）	: 852千円
令和9年度以降	事業費（進捗率）	: 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度
 - 環境省の生物多様性保全推進支援事業補助金を活用して柳川及び渋沢生き物の里で散策路の整備を行った。
- ・令和7年度
 - 市内7か所の生き物の里が地域生物多様性増進法に基づく自然共生サイトに認定された。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	040	生き物の里保全事業費	事業3	001	生き物の里保全事業費

- ・施設の老朽化に伴う修繕、地域の担い手の高齢化、新規担い手の確保。
- ・生物多様性保全の必要性和周知啓発。
- ・地域住民への環境教育の場として利用できる整備の必要性。
- ・ネイチャーポジティブ実現への寄与。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取り組み等）[A]

- ・地域の活動の支援（管理運営費謝礼、土留め整備原材料費、運営協議会の支援）
- ・生物多様性の周知啓発
- ・神奈川県生物多様性アドバイザー派遣制度の活用
- ・みんなの里、準・生き物の里の構築

6 要求額の増減理由[A]

- (1) 増減理由
- ・生物多様性保全推進支援補助金の終了による減（△885千円）
 - ・名古屋地区の生き物の里の再生の取り組みに専門家の生物調査協力謝礼の増（7千円）
 - ・消耗品費の増（8千円）
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
- ・各生き物の里の活動回数 令和4年度：48回 令和5年度：37回 令和6年度：51回

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

里山の希少生物を保全する環境整備とそれに係る人材確保のために、活動を広く周知する必要がある。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	060	河川・水路浄化対策事業費	事業3	001	河川・水路浄化対策事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 安らぎと潤いのある水辺環境の創出、河川上流市としての海洋プラスチックごみ削減の啓発
- ・内容 市内の河川において地域との協働によるごみ拾い活動、今泉あらい湧水公園や今泉名水桜公園の湧水池の維持管理
- ・SDGs 6 安全な水とトイレを世界中に
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 14 海の豊かさを守ろう
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 海洋プラスチックごみの減少、河川美化意識の醸成、安らぎと潤いのある水辺環境の創出、生物多様性の保全
- ・目標値 河川清掃の実施回数 年間6回（延べ）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 なし
- ・計画 環境基本計画
総合計画（基本施策315 きれいで快適な生活環境の確保）

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 137千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 142千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 152千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容 [D]

- ・令和6年度 7月の河川浄化月間に、葛葉川環境ウォーク、金目川環境ウォーク、12月に水無川環境ウォークを実施、ボランティアによる葛葉川清掃に協力（12月）、四十八瀬川環境ウォークは雨天中止
- ・令和7年度 7月の河川浄化月間に、葛葉川環境ウォーク、四十八瀬川環境ウォーク、12月に金目川環境ウォーク、水無川環境ウォークを実施、ボランティアによる葛葉川清掃に協力予定（12月）

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

- ・参加者の固定化、新たな参加者の確保が課題

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	060	河川・水路浄化対策事業費	事業3	001	河川・水路浄化対策事業費

- ・河川清掃は梅雨時期以外の柔軟な開催時期について検討
- ・海洋プラスチックごみ削減に向けた啓発
- ・今泉あらい湧水公園、今泉名水桜公園内の湧水池は、外来種の拡大や泥の堆積が見られるため、継続的な対応が課題

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・安らぎと潤いのある水辺環境を保全するため、湧水池の維持、管理を実施する。
- ・海洋プラスチックごみ対策につながる河川清掃を引き続き自治会等と協力して実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

草処分単価及び処分量の増加に伴い委託料が増額したことによる増（10千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・令和4年度 河川清掃の実施回数 3回
- ・令和5年度 河川清掃の実施回数 4回
- ・令和6年度 河川清掃の実施回数 3回

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・引き続き海洋プラスチックごみ問題に対し、海につながる河川の上流に位置する自治体としての役割を担う。
- ・今泉名水桜公園において水質浄化の手法について調査研究を行う。
- ・河川清掃の場所として新たな河川を追加、また開催時期の柔軟な対応等を検討する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	014015000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	070	環境基本計画推進事業費	事業3	001	環境基本計画推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 環境基本計画の推進のために、市民・事業者等に対して環境保全意識の啓発・高揚を図る。
- ・内容 はだのエコスクールの実施、環境月間の実施、環境ポスター環境標語コンクールの実施、弘法山自然観察会の実施。
- ・SDGs 6: 安全な水とトイレを世界中に
7: エネルギーをみんなに そしてクリーンに
12: つくる責任 つかう責任
13: 気候変動に具体的な対策を
15: 陸の豊かさを守ろう
17: パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 様々な取組みにより、誰もが環境課題を自分のこととして意識することを働きかけるもの。
- ・目標値 環境基本計画に基づき各種目標値を設定。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 環境基本条例
- ・計画 総合計画（基本施策312 地球温暖化対策の推進と再生可能エネルギーの積極的活用）、
秦野市環境基本計画（第3次計画）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 771千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 1,170千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 826千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 はだのエコスクールの実施、環境月間の実施、環境ポスター・環境標語コンクール等を実施した。
- ・令和7年度 はだのエコスクールの実施、環境月間の実施、環境ポスター・環境標語コンクール等を実施した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

エコスクール、環境ポスター・環境標語を通して、市民に対し、地球温暖化などの環境問題や水とみどりの保全への意識啓発を図ることができた。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業 1	046	01040201
事業 2	070	環境基本計画推進事業費	事業 3	001	環境基本計画推進事業費

エコスクールは、常に最新の事業に更新をしていくことが必要である。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

環境標語・コンクールは小中学校への協力依頼や広報はだの、市ホームページ等による応募の呼びかけを行う。
エコスクールは民間企業協力会社の新規開拓に努める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・はだのエコスクールの協力団体の実施回数増加に伴い、報償費が増額。
- ・環境基本計画のアンケート調査を終了したため、消耗品費及び役務費が減額。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・エコスクール実施回数 令和5年度…114回/令和6年度…108回/令和7年度…121回（申込数）
- ・表彰盾作成業務 令和5年度…110,000円/令和6・7年度…164,560円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

市民に対して環境問題やカーボンニュートラル、本市の魅力である自然への意識啓発・高揚を図るために、引き続きエコスクール、環境ポスター・環境標語コンクール、弘法山自然観察会などを実施する。
エコスクールや環境ポスターのテーマは時勢に合わせ、随時更新を図る。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・予算計上額（うち一般財源） 786千円（786千円）
- ・内 容 環境ポスター・環境標語の受賞者には、森林資源の循環による二酸化炭素の貯蔵・固定化につながる木製製品の利用促進を図る。「ゼロカーボンシティ」環境学習エコスクールの実施により幼少期からの環境保全意識を高める「ゼロカーボンシティ」

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	080	地球温暖化対策事業費	事業3	001	地球温暖化対策事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 二酸化炭素の排出抑制による緩和策及び気候変動への適応策を推進し、2050年カーボンニュートラル（脱炭素社会）を実現する。
- ・内容 地球温暖化対策に資する啓発、事業等を推進する。
- ・SDGs
 - 4 質の高い教育をみんなに
 - 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - 8 働きがいも経済成長も
 - 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 - 13 気候変動に具体的な対策を
 - 17 パートナーシップで目標を達成する

(2) 効果・目標値

- ・効果 二酸化炭素の排出抑制を図る。
地域特性及び地域資源を生かした再生可能エネルギーの利活用。
- ・目標値 2030年度(令和12年度)における二酸化炭素排出量▲46%（2013年度(平成25年度)比）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 地球温暖化対策の推進に関する法律及び気候変動適応法等
- ・計画 環境基本計画、地球温暖化対策実行計画
総合計画（基本施策312 地球温暖化対策の推進と再生可能エネルギーの積極的活用）

2 全体計画[P]

- ・全体計画

事業費	:	
令和6年度決算	事業費（進捗率）	: 3,109千円
令和7年度予算	事業費（進捗率）	: 6,393千円
令和8年度予算	事業費（進捗率）	: 5,762千円
令和9年度以降	事業費（進捗率）	: 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 限られた予算内で地域脱炭素を実現するため、太陽光発電設備を国庫補助の活用や初期費用を要しないPPA事業により設置するほか、民間連携により費用負担なしで電気自動車用充電設備の設置を行ったほか、地域資源の活用に向けたバイオマス産業都市構想の認定を受け、社会実装に向けた取組みの推進
- ・令和7年度 地域脱炭素の実現を加速化させるため、脱炭素に係る市民会議の提案等を受けた課題に応じた制度設計から社

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	080	地球温暖化対策事業費	事業3	001	地球温暖化対策事業費

会実装に向けた取組みを推進した。

- 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]
 2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、脱炭素施策を広く啓発し、市民、事業者、各種団体等に対する意識の向上につなげるとともに、本市の地域特性や地域資源を生かした取組みを組織横断的、かつ、強力に推進していく必要がある。
 ・秦野市域の二酸化炭素排出量（2023年度(令和5年度)実績）：633千t-CO2（2013年度比▲26.7%）
 ・秦野市役所の二酸化炭素排出量（2024年度(令和6年度)実績）：9,906t-CO2（2013年度比▲40.3%）

- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 地域脱炭素の推進に向け、行政としては脱炭素に関わる新技術の幅広い情報収集や、新たな事業に活用できる特定財源（国庫補助等）の獲得に努める。
 市民や事業者に対しては、脱炭素情報を集約したWEBポータルサイト「はだのde脱炭素」による情報発信を強化するとともに、脱炭素に資する「補助制度」を創設し、民生部門を中心とした取組みを加速度的に推進する。
 また、「バイオマス産業都市構想」に係る取組みについては、ステークホルダーと協働、連携しながら、事業化プロジェクトの着実な推進に取組む。

- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
 (1) 増減理由
 補助制度を新規創設することにより、補助金・交付金が増額となったため。
 効果定量型省エネ教育の委託を終了することにより、委託料が減額となったため。
 (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 該当なし

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 地球温暖化対策実行計画の基本理念である「みんなごとを未来へ」について、庁内では、組織横断的な執行体制のもと、より一層の共有認識を図り、計画の目標達成に努める。庁外においては、一人ひとりが脱炭素に関心を持つことができるような行動変容策を実行する。

- 8 その他
 (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 ・予算計上額（うち一般財源） 5,762千円（5,762千円）
 ・内 容
 (2) 自然災害対策への取組
 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	080	地球温暖化対策事業費	事業3	001	地球温暖化対策事業費

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	090	環境保全事務費	事業3	001	環境保全事務費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・目的 環境保全に係る事務の円滑な促進
- ・内容 環境保全関係全般にわたる事務
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 環境保全に係る事業の適正な執行
- ・目標値 継続した生物調査を実施

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 環境基本法
- ・計画 環境基本計画、みどりの基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 6,702千円
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 7,967千円
 ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 8,490千円
 ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 生物多様性地域戦略に基づき、調査箇所を増やして動植物の生息状況調査を実施した。
- ・令和7年度 生物多様性地域戦略に基づき、継続的に動植物の生息状況を実施した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・生物多様性地域戦略を策定した後の展開
- ・市民への周知
- ・調査員の確保

5 令和7年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・生物多様性地域戦略に基づく事業の推進
- ・環境保全事業の事務を円滑に推進

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	01	環境総務費	事業1	046	01040201
事業2	090	環境保全事務費	事業3	001	環境保全事務費

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・会計年度任用職員の賃金上昇に伴う人件費の増額
- ・ネイチャーポジティブ推進のための啓発ポスター作成経費（消耗品費・印刷製本費）の増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・会計年度任用職員が昇給したことによる人件費の増額
（前年度比+506千円；報酬、職員手当等、共済費、旅費等）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・環境保全に係る事務の円滑な推進のため、効率的・効果的な事務の遂行
- ・生物調査の継続実施

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	040	地下水汚染防止対策事業費	事業3	001	地下水保全審議会運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 地下水の保全その他関連する事項に係る問題について専門的な見地から助言をいただき、問題の解決・改善を図る。
- ・内容 秦野市地下水保全条例の規定に基づき、地下水の水質保全その他関連する事項について、市長の諮問に応じて調査又は審議を行い、その結果を答申し、又はその意見を建議する。
- ・SDGs 6 安全な水とトイレを世界中に
12 つくる責任つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効果 地下水浄化事業の手法や地下水の利活用について、専門家である審議会から助言をいただくことで、地下水保全事業の推進が図られる。
- ・目標値 地下水の保全その他関連する事項について、専門家の助言を伺う機関であることから目標値の数値化は困難である。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市地下水保全条例
- ・計画 秦野市地下水総合保全管理計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 81千円
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 168千円
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 209千円
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 新規井戸設置許可申請に係る諮問、秦野名水の活用戦略策定
- ・令和7年度 委員改選、秦野市地下水総合保全管理計画の中間見直し

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

地下水保全事業に対して専門的な見地から意見をいただいている。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

審議事案が生じた際は速やかに開催する。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	040	地下水汚染防止対策事業費	事業3	001	地下水保全審議会運営費

地下水利活用や浄化事業報告に対し、専門的な見地から意見をいただく。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
報酬額及び郵送料の増額
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 附属機関の委員報酬 7,800円 → 9,600円
 審議会開催に伴い事前に資料を送付するもの 委員数 9名 計3回

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

秦野市地下水保全条例の規定に基づき、地下水の水質保全その他関連する事項について、市長の諮問に応じて調査又は審議を行い、その結果を答申し、又はその意見を建議するため継続して実施する。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	014015000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	040	地下水汚染防止対策事業費	事業3	002	地下水汚染対策費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 地下水保全条例に基づき、化学物質による地下水の汚染を防止し、市民の健康と生活環境を守る。
- ・内容 有機塩素系化学物質によって汚染された地下水を浄化するため、次の各事業を実施する。
 - ・土壌及び地下水の監視事業
 - ・関係事業者が行う浄化事業の監督・指導
 - ・汚染地下水の浄化事業
 - ・対象物質使用事業所の立入調査
- ・SDGs 6 安全な水とトイレを世界中に
12 つくる責任つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効果 地下水の浄化事業を実施することで水無川左岸側の汚染地下水の早期回復が図られる。また、立入調査を実施し、新たな地下水汚染の未然防止を図る。
- ・目標値 水無川左岸側の監視基準井戸で地下水保全条例の浄化目標値を達成する。また、新たな地下水汚染がないこと。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市地下水保全条例
- ・計画 秦野市総合計画（基本施策313 「秦野名水の保全と利活用」）
秦野市地下水総合保全管理計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：8,070千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：10,694千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：11,245千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）：

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 観測井調査、定点モニタリング調査、モリブデン調査、立入調査の実施。
- ・令和7年度 観測井調査、定点モニタリング調査、モリブデン調査、立入調査の実施。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

現在の汚染について、定点モニタリング調査において環境基準を達成し、改善がされているため、今後、新たな汚染が

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	040	地下水汚染防止対策事業費	事業3	002	地下水汚染対策費

起こらないよう未然防止を行う必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

地下水汚染事業を推進するとともに各種モニタリング調査を実施し、地下水の監視業務を実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

水質分析委託料の増額。

税抜設計単価（4項目一斉分析）令和7年度 15,000円→令和8年度 10,340円

（18項目一斉分析）令和7年度 28,000円→令和8年度 46,310円

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

4項目一斉分析契約単価（税抜） 令和5年度 4,800円 令和6年度 6,000円 令和7年度 15,000円（予算）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

地下水保全条例の浄化目標値を達成するためには、継続することにより効果が出るものであるため、引き続き浄化事業を推進する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし

(2) 自然災害対策への取組
該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	050	地下水保全事業費	事業3	001	秦野名水利活用事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市民共有の財産である秦野名水の保全と利活用により、健全で持続可能な水循環を創造する。
- ・内容 地下水総合保全管理計画の実施、親水施設等の保全管理及び秦野名水の利活用。
- ・SDGs 6：安全な水とトイレを世界中に
12：つくる責任つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効果 市民共有の財産である秦野名水を保全しつつ、持続的な利活用を図ることができる。
- ・目標値 秦野名水の認知度を高め、「名水の里 秦野」のブランド力を向上させる。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市地下水保全条例
- ・計画 秦野市総合計画（基本施策313 「秦野名水の保全と利活用」）
秦野市地下水総合保全管理計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：1,670千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：2,075千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：3,822千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度
地下水収支の推測、親水施設等の整備、湧水の飲料水質調査、湧水地・水道施設等巡りの実施、秦野名水啓発イベントの実施、秦野名水名人講座の開催、名水サミットinしまばらへの参加
- ・令和7年度
地下水収支の推測、親水施設等の整備、湧水の飲料水質調査、湧水地・水道施設等巡りの実施、秦野名水啓発イベントの実施、秦野名水名人講座の開催、市制施行70周年記念事業の実施

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

秦野名水の保全と利活用のバランスが必要である。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	050	地下水保全事業費	事業3	001	秦野名水利活用事業費

地下水取支の推測、親水施設等の整備、湧水の飲料水質調査、湧水地・水道施設等巡りの実施、秦野名水ロゴマーク・啓発物品による普及啓発、秦野名水フェスティバルの実施、秦野名水巡りコースの周知、秦野名水名人講座の開催、秦野名水名人講による秦野名水の保全と利活用の活動、秦野名水マップ等の啓発用印刷物の作成、名水サミットinにしかわへの参加

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

秦野名水フェスティバル10周年記念事業の実施に伴う増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・令和6年度実績 110,500円
- ・令和7年度実績 101,435円
- ・令和8年度予算 1,311,548円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

今後も継続して市民共有の財産である秦野名水の保全、普及啓発に努め、秦野名水のブランド力向上と郷土愛の醸成を図り秦野名水の利活用による地域活性化を目指す。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	050	地下水保全事業費	事業3	002	地下水モニタリング事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 秦野市地下水総合保全管理計画で掲げる「健全で持続可能な水循環の創造」を図る。
- ・内容 「神奈川県水源環境保全・再生市町村補助金」を活用して、次の事業を実施する。
 - ・地下水等観測業務
 - ・地下水モニタリング事業
 - ・秦野盆地水理構造調査ボーリング
- ・SDGs 6：安全な水とトイレを世界中に
12：つくる責任つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効果 各事業を実施することにより、適切な環境監視と評価・管理手法を整備し、3次元数値シミュレーション技術を適用した「はだの水循環モデル」を導入することで地下水の水収支や賦存量等の監視と推計が可能な水資源管理システムを構築し、水循環をマネジメントしながら市民共有の貴重な財産にふさわしい利活用を図ることができる。
- ・目標値 水循環モデル及び水循環管理支援システムの運用の定着とわかりやすい水資源利用状況の広報並びに地下水収支の検証による、地下水の適正管理。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市地下水保全条例
- ・計画 秦野市総合計画（基本施策313 「秦野名水の保全と利活用」）
秦野市地下水総合保全管理計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：39,713千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：52,679千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：58,619千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 地下水等観測業務、地下水モニタリング事業、秦野盆地水理構造調査ボーリング
- ・令和7年度 地下水等観測業務、地下水モニタリング事業、秦野盆地水理構造調査ボーリング

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	050	地下水保全事業費	事業3	002	地下水モニタリング事業費

地下水モニタリング事業において、広報ツールとして秦野名水プロジェクトマップ、水資源保全管理ダッシュボードの作成を行ったが効果的に市民等に広報が行われているかを検討する必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・地下水等観測業務
- ・地下水モニタリング事業（新規観測データの整理と分析、水資源保全管理計画の検討等）
- ・秦野盆地水理構造調査ボーリング

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

秦野盆地水理構造調査ボーリングの深度延長による増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・令和6年度 深度想定100m
- ・令和7年度 深度想定125m
- ・令和8年度 深度想定150m

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

今後も「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」に基づき、事業を行う。水循環モデル及び水循環管理支援システムの運用の定着に向けた事業展開を行う。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	050	地下水保全事業費	事業3	003	地下水かん養事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 人工かん養により地下水量を保全し、健全で持続可能な水循環を創造する。
- ・内容 水田かん養、雨水浸透施設設置補助事業等による地下水の人工かん養を行うとともに、上下水道局に対し、農業用水道料金と一般用水道料金との差額を負担する。
- ・SDGs 6：安全な水とトイレを世界中に
12：つくる責任つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効果 人工かん養事業を継続して実施することにより地下水量の保全ができる。
農地の地下水かん養が促進できる。
- ・目標値 人工かん養量の増加による安定的な地下水収支

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市地下水保全条例
- ・計画 秦野市地下水総合保全管理計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：2,474千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：10,368千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：2,903千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 水田かん養事業（休耕田、冬季水田）、家庭用雨水浸透施設設置補助事業、農業用水道料金負担金
- ・令和7年度 水田かん養事業（休耕田、冬季水田）、家庭用雨水浸透施設設置補助事業、農業用水道料金負担金、地下水かん養事業費負担金

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

長期的な傾向として地下水収支はプラスとなっているが、気候変動等への対策として継続して人工かん養を推進する必要がある。
家庭用雨水浸透施設設置補助申請がないため、周知に努める。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	050	地下水保全事業費	事業3	003	地下水かん養事業費

水田かん養事業（休耕田、冬季水田）、家庭用雨水浸透施設設置補助事業、農業用水道料金負担金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和7年度に実施した地下水かん養事業費負担金（上下水道局が実施する地下水注入井戸更新費用に対する負担金）事業が完了したため減額となったもの。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和7年度 7,509,000円（神奈川県水源環境保全・再生市町村補助金対象事業）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

地下水収支、地下水モニタリング事業等の調査結果を精査し、より効果のあるかん養事業を検討する。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	060	深層地下水浄化事業費	事業3	001	深層地下水浄化事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 水無川左岸において、第4礫層に入り込んだ有機塩素系化学物質の汚染を浄化し、汚染地下水の早期回復を目指す。
- ・内容 県の水源環境保全・再生市町村補助金を活用して事業を実施するもの。市内に設置した3基の浄化装置の借上及び維持管理を行い、地下水の浄化状況についてモニタリング調査を実施する。
- ・SDGs 6 安全な水とトイレを世界中に
12 つくる責任つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効果 汚染物質が残っている水無川左岸において、深層地下水浄化装置を設置し、浄化事業を実施することで汚染地下水の早期回復が図られる。
- ・目標値 水無川左岸側の監視基準井戸で地下水保全条例の浄化目標値を達成する。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市地下水保全条例
- ・計画 秦野市総合計画（基本施策313 「秦野名水の保全と利活用」）
秦野市地下水総合保全管理計画
第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：18,182千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：22,606千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：22,852千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 市内3基の深層地下水浄化装置による浄化事業、観測井の設置。
- ・令和7年度 市内3基の深層地下水浄化装置による浄化事業

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

深層地下水浄化装置の設置から10年以上経過しているため、安定的な浄化事業が実施できるかが課題である。
地下水の浄化シミュレーションに基づく効果的な浄化をすることが課題である。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	060	深層地下水浄化事業費	事業3	001	深層地下水浄化事業費

- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 浄化装置が安定的に稼働できるように定期的な点検、モニタリング調査を実施する。
 また、観測井から深層地下水の浄化事業の効果を確認する。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
- (1) 増減理由
 主に会計年度職員の時給が増加したため。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
- | | | |
|------------|-------------|---------|
| 令和6年度（決算額） | 会計年度職員報酬等総額 | 2,899千円 |
| | 水質分析委託料 | 432千円 |
| 令和7年度（予算額） | 会計年度職員報酬等総額 | 4,812千円 |
| | 水質分析委託料 | 1,566千円 |
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 水無川の左岸側の観測井では、現在も地下水保全条例の目標値を超過している地点があるため、引き続き継続的な浄化事業を実施する必要がある。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	070	地下水汚染対策基金積立金	事業3	001	地下水汚染対策基金積立金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 地下水汚染対策事業の円滑な推進
- ・内容 地下水保全条例に基づき、地下水の質を保全する事業その他必要な事業を行うために設置している地下水汚染対策基金に積立てをするもの。
- ・SDGs 6：安全な水とトイレを世界中に
12：つくる責任つかう責任

(2) 効果・目標値

- ・効果 地下水汚染対策基金に積立を行うことで、地下水の質を保全するための必要な事業を実施することができる。
- ・目標値 目標値は定めていないが、より多くの寄附が募れるよう努める。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市地下水保全条例
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）：393千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）：472千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）：495千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度 of 取組内容[D]

- ・令和6年度 秦野名水フェスティバル等のイベントで募金活動、募金塔。
- ・令和7年度 秦野名水フェスティバル等のイベントで募金活動、募金塔。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

寄附は、地下水保全条例に基づく対象物質を使用する事業所に寄附をお願いしている事業所寄附金と一般寄附金がある。事業所寄附金の対象事業所は過去から減少していることから、一般寄附金の確保が課題。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

秦野名水フェスティバル等のイベントにおいて募金活動を積極的に行い、寄附の確保に努める。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	02	公害対策費	事業1	047	01040202
事業2	070	地下水汚染対策基金積立金	事業3	001	地下水汚染対策基金積立金

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

預金利率の上昇に伴う増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

・令和6年度 0.05%

・令和7年度 0.08%

・令和8年度 1.30%

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

引き続き寄附の確保については、一般寄附を含め積極的に実施していく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源） 0千円（ 0千円）

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	03	緑化推進費	事業1	048	01040203
事業2	010	緑化思想普及費	事業3	001	緑化思想普及費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 緑の大切さに対する認識を深め、緑を育てる市民意識の高揚を図るとともに緑を増やし、快適な環境づくりに努める
- ・内容 緑のカーテン事業、市の花「なでしこ」の定植、お祝い記念樹の贈呈、環境創出行為における緑化指導の実施
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに
11 住み続けられるまちづくりを
13 気候変動に具体的な
15 陸の豊かさを守ろう

(2) 効果・目標値

- ・効果 市街地における緑地の保全、緑のカーテンの普及促進による緑化推進及び省エネの意識啓発
- ・目標値 都市計画区域に対し緑地の割合が74%

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 まちづくり条例
- ・計画 環境基本計画、みどりの基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費(進捗率) : 127千円
- ・令和7年度予算 事業費(進捗率) : 127千円
- ・令和8年度予算 事業費(進捗率) : 131千円
- ・令和9年度以降 事業費(進捗率) : 千円

3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・令和6年度 緑のカーテンの設置、カワラナデシコの種及び苗の配布、ゴーヤを種から苗にする里親募集及び苗の配布、お祝い記念樹の贈呈、環境創出行為における緑化指導、関係団体と協働事業(緑のカーテン・カワラナデシコ)の実施。
- ・令和7年度 緑のカーテンの設置、カワラナデシコの種及び苗の配布、ゴーヤを種から苗にする里親募集及び苗の配布、お祝い記念樹の贈呈、環境創出行為における緑化指導、関係団体と協働事業(緑のカーテン・カワラナデシコ)の実施。みどりのカーテンでは、試行的にキュウリの苗を配布した。

4 事業の自己評価(効果、目標値に対する検証・課題・問題点等)[C]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	03	緑化推進費	事業1	048	01040203
事業2	010	緑化思想普及費	事業3	001	緑化思想普及費

関係団体と協働したことに伴い、多くの市民に苗（ゴーヤ・キュウリ・カワラナデシコ）を届けることができた。

- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
- ・緑のカーテン事業について、関係団体と協働し、キュウリを追加育て事業内容の充実を図る。（特別枠：ゼロカーボン）
 - ・カワラナデシコ普及事業について、事業内容の充実を図る。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
- (1) 増減理由
単価の上昇による増額（消耗品費4千円）
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
令和5年度はゴーヤの苗366株、カワラナデシコの苗3,342株を市民や企業等へ配布
令和6年度はゴーヤの苗443株、カワラナデシコの苗3,132株を市民や企業等へ配布
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
- ・（公財）かながわトラストみどり財団が実施する「ふれあい緑化事業費（お祝い記念樹の財源）」を活用する。
 - ・緑のカーテン事業については、市民が参加しやすい手法を検討しながら継続する。
 - ・カワラナデシコ普及事業については、市民が参加しやすい手法を検討しながら継続する。
 - ・環境創出行為時の緑化指導については、適正な運用を継続していく。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
- ・ 予算計上額（うち一般財源） 126千円（126千円）
 - ・ 内 容 屋内と屋外の熱の伝達は約7割が窓等の開口部等を介するとされている。開口部等に緑のカーテンを設置することにより、夏の強い日差しを遮り、室温の上昇を抑えることで、エアコンの使用が抑えられ、二酸化炭素排出の削減につながる。「ゼロカーボンシティ」
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	03	緑化推進費	事業1	048	01040203
事業2	020	樹林・樹木保全経費	事業3	001	樹林・樹木保全経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市民共有の財産である緑を守り、育てていくこと。
- ・内容 市街地に残された貴重な樹林・樹木を樹林保全地区及び保存樹木として指定し、所有者に奨励金を交付。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを
13 気候変動に具体的な対策を
15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 市街地における緑地の保全、生物多様性の保全
- ・目標値 樹林保全地区面積10.36ha、保存樹木32本（令和12年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 みどり条例、みどり条例施行規則
- ・計画 総合計画（基本施策311 多様な生物を育む自然環境の保全と再生）、みどりの基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : _____
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 5,380千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 4,780千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 4,673千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : _____千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 市街地に残された貴重な樹林・樹木を樹林保全地区及び保存樹木として指定し、所有者に奨励金を交付した。
また、樹林保全地区の所有者、整備団体、市が協定を締結し、樹林地の整備を推進した。
- ・令和7年度 市街地に残された貴重な樹林・樹木を樹林保全地区及び保存樹木として指定し、所有者に奨励金を交付した。
また、樹林保全地区の所有者、整備団体、市が協定を締結し、樹林地の整備を推進した。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

樹林保全地区及び保存樹木は市民共有の財産という考えのもと、事業開始（昭和48年度）から40年以上が経過し、時代の変化とともに市民の自然保護や緑化保全に対する意識は高まってきていると思われる。しかし、開発等によって市街地の緑が失われてしまう危険性は存在しており、市民共有の財産である緑を守り、育てていくために継続して事業を実施していく。樹木の老朽化と巨木化、気象災害の激化等により、年々、緑地の管理が困難になっている。さらに、土地所有者の高齢化から、三

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	03	緑化推進費	事業1	048	01040203
事業2	020	樹林・樹木保全経費	事業3	001	樹林・樹木保全経費

者協定による管理・保全の希望者が増えることが予想され、三者協定により整備を実施しているNPO法人の高齢化による人材不足の解消を図るため、令和5年度から1事業者と協定を締結した。今後も整備ができる事業者等の調査を進めていく必要がある。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・ 樹林については、樹木の老木化、高木化が進み、自己管理が難しくなっていることから、三者協定による管理・保全の希望者が増えることが想定されるため、整備ができる事業者等の調査を進めていく。
- ・ 災害の激化に備え、樹木の所有者には、日常の管理や点検について周知を図っていく。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・ 樹林面積の減少による賠償責任保険料の減額（△7千円）
- ・ 奨励金対象樹林面積の減少による奨励金の減額（△100千円）

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・ 令和4年度 樹林保全地区 95,140㎡ 保存樹木 26本
- ・ 令和5年度 樹林保全地区 93,271㎡ 保存樹木 26本
- ・ 令和6年度 樹林保全地区 92,740㎡ 保存樹木 26本

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

三者協定による管理を中心に制度設計を検討する中で費用を推計し、財源等（森林環境譲与税活用などを視野）についても検討を進める。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 予算計上額 4,673千円（うち一般財源4,673千円）
- ・ 内 容 三者協定による樹林保全地域の定期的な整備及び地権者等への奨励金の交付による樹林保全による炭素の吸収・固定化

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	03	緑化推進費	事業1	048	01040203
事業2	030	くずはの広場管理運営費	事業3	001	くずはの広場管理運営費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 くずはの広場の維持管理及びボランティア団体活動の活性化によるくずはの家の自主事業の充実
- ・内容 自然保護意識の普及啓発及び自然学習の場としての機能の発展
- ・SDGs 7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに
13: 気候変動に具体的な対策を
15: 陸の豊かさを守ろう
17: パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果
 - ・自然保護意識の醸成が図られる
 - ・自然観察施設として、知識、情報、人材の集積地となる
- ・目標値
 - ・くずはの家における自主事業の実施回数（令和8年度104回）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市くずはの広場条例、秦野市くずはの広場条例施行規則
- ・計画 総合計画（基本施策311 多様な生物を育む自然環境の保全と再生）

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 20,746千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 17,607千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 19,313千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 自主事業実施回数 104回
屋根及び外壁等塗装工事、アスベスト調査の実施、研修室の照明をLED化
つり橋安全点検の実施
- ・令和7年度 支障木伐採、企業研修の受入れ、シカ侵入防止柵の設置

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

- ・葛葉緑地の保全契約の維持 ・施設の維持管理 ・ヤマビル対策、計画的な樹木剪定の実施
- ・ボランティア団体の活動の場の拡充、活動費の捻出、新たな人材の確保
- ・激甚化する風水害への対応（葛葉川の浸食による河床・流域の変化や峡谷の崩落）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	03	緑化推進費	事業1	048	01040203
事業2	030	くずはの広場管理運営費	事業3	001	くずはの広場管理運営費

・ニホンジカの個体の定着による食害や植物への影響

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・葛葉緑地ボランティア（えのきの会、ボランティアの会）との協働による事業の実施と緑地整備の実施
- ・建物の定期的な整備 ・広場内緑地の定期的な整備
- ・自主事業の充実と担い手の育成 ・つり橋河川占用許可更新

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・会計年度任用職員が昇給したことによる人件費（報酬、職員手当等、共済費：1,180千円）の増額
- ・令和7年度に新規採用した会計年度任用職員の通勤費の減額（△80千円）
- ・倒木により破損した物置き購入経費の増額（527千円）
- ・熱中症対策及び刈払機を使用時などの安全衛生等必要物品（67千円）の増額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・会計年度任用職員が昇給したことによる人件費の増額（前年度比+1,180千円；報酬、職員手当等、共済費）の増額
- ・令和7年度に新規採用した会計年度任用職員は勤務地から2km未満のため通勤費の支給なし。よって、令和6年度に計上していた80千円の削減。

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・定期的、計画的な施設の修繕、メンテナンス
- ・くずはの活動指針及びくずはの広場管理計画の策定（見直し）
- ・自主事業の充実と担い手の育成
- ・広場内緑地の整備
- ・自然共生サイト認定地としての情報発信、企業との連携

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

- ・予算計上額（うち一般財源） 1,260千円（1,260千円）

・内 容

くずはの広場内樹木剪定及び自然災害に備えて危険木をあらかじめ伐採等するもの

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	03	緑化推進費	事業1	048	01040203
事業2	040	蓑毛自然観察の森管理運営費	事業3	001	蓑毛自然観察の森管理運営費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 本施設を活用した取組みを実施することで、蓑毛地区の魅力ひいては本市の地域資源の魅力を市内外に発信する。
- ・内容 本市の歴史と自然を体験できる場である蓑毛緑水庵及び自然観察の森の管理運営を行う。
- ・SDGs 15 陸の豊かさを守ろう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 自然観察の森にある昔ながらの農家住宅「緑水庵」は管理運営を地域住民で構成する団体である「緑水庵管理運営委員会」に委託することで、行き届いた管理運営が図られている。事業活動についても、同地区団体の「蓑毛地区活性化対策委員会」が中心となり、地域活性化につながる活用が行われている。
- ・目標値 令和12年度来訪者数 3,400人

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 秦野市総合計画（基本施策311 多様な生物を育む自然環境の保全と再生）、表丹沢魅力づくり構想、ヤビツ峠・蓑毛周辺魅力向上計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 39,062千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 8,301千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 7,233千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 緑水庵・蓑毛自然観察の森活用指針に基づく、耐震改修等設計委託、駐車場等整備工事、電柱移転を行った。
- ・令和7年度 緑水庵・蓑毛自然観察の森活用指針に基づく、緑水庵のWi-Fi環境を整備するとともに、屋外トイレの改修及び令和6年度に整備した駐車場等の用地測量を行った。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等） [C]

自然観察の森は、散策路を整備したことによるヤマビル被害の検証。
緑水庵は、敷地や屋内建具の修繕などハード面の整備を着実に進めていく。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	03	緑化推進費	事業1	048	01040203
事業2	040	葦毛自然観察の森管理運営費	事業3	001	葦毛自然観察の森管理運営費

- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 ・適切な維持管理を図るとともに、地域団体主催事業に協力しながら更なる魅力発信や地域活性化を支援する。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
 (1) 増減理由
 ・緑水庵敷地整備工事（3,619千円）、緑水庵屋内建具等修繕工事（2,000千円）の増
 ・かやぶき屋根補修（123千円）の増
 ・掲示板設置委託（317千円）の増
 ・トイレ修繕工事（3,500千円）完了による減
 ・駐車場境界確定測量（3,604千円）完了による減
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和5年度：不動産鑑定 時点修正率に係る意見書作成業務 44千円
 不動産鑑定 格差率に係る意見書作成業務 44千円
 駐車場等候補地測量設計委託 4,680千円
 緑水庵構造確認・修繕等設計委託 472千円
 葦毛自然観察の森散策路整備委託 5,084千円
 駐車場等候補地購入費 3,600千円
 令和6年度：緑水庵耐震改修等設計委託 4,939千円
 緑水庵駐車場等整備工事 35,100千円
 緑水庵電柱移転補償費 500千円
 令和7年度：緑水庵屋外トイレ等改修工事 3,129千円
 緑水庵駐車場等用地測量委託業務 2,429千円
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 ・適切な維持管理を図るとともに、地域団体主催事業に協力しながら更なる魅力発信や地域活性化を支援する。
 ・文化財として、また、地域の活動拠点として利用していくため、活用指針に基づき、施設の整備等を進めていく。
- 8 その他
 (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 ・予算計上額（うち一般財源） 72千円（72千円）
 ・内 容 Wi-Fi月額利用料
- (2) 自然災害対策への取組
 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	03	緑化推進費	事業1	048	01040203
事業2	050	みどり基金積立金	事業3	001	みどり基金積立金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 みどりの保全及び創造
- ・内容 みどりが本市、市民及び事業者の共有の財産であるという認識のもとに、みどりを保全し創造するため、基金を設置するもの。
- ・SDGs 15：陸の豊かさを守ろう
17：パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 該当なし
- ・目標値 みどり基金目標額 2,000,000千円（秦野市みどり条例施行規則）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市みどり条例
- ・計画 総合計画（基本施策311 多様な生物を育む自然環境の保全と再生）、環境基本計画（第3次計画）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 276千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 519千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 667千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 くずはの家のイベントやお祝い記念樹贈答時に募金活動を実施
- ・令和7年度 くずはの家のイベントやお祝い記念樹贈答時に募金活動を実施

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

利子収入やラインスタンプ収入の伸び悩み

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

イベント時での募金活動に際し、寄付者が増加するような工夫（魅力的な啓発物品等）を図る。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0140150000	環境共生課	会計	01	一般会計
款	04	衛生費	項	02	環境費
目	03	緑化推進費	事業1	048	01040203
事業2	050	みどり基金積立金	事業3	001	みどり基金積立金

預金利率の上昇

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 企業等や募金によるみどり基金への寄附額
- ・令和4年度 551千円
 - ・令和5年度 761千円
 - ・令和6年度 271千円

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 イベント時での募金活動に際し、寄付者が増加するような工夫を図る。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 該当なし